第五号書式（第五条関係）

生 産 状 況 報 告 書

所在地

造船所 名 称

1 生産高（　　年 4月　　～9月 / 10月～翌年3月　　）

単位 千円

	新造船	改造・修繕船	その他の工事	合計
生産高				

2 新造船工程表（　　年 3 / 9 月末現在）

船台番号	製造しうる最大船舶（G. T. ）	実績						予定											
		年						年											
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

3 工事時間数（　　年 3 / 9 月末現在）

単位 千時間

工事区分			総工数	実績						予定											
				年						年											
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
新造船工事	既契約船																				
	未契約船																				
	小計																				
改造及び修繕船工事																					
その他の工事																					
直接工数計																					
間接工数（総合原価部門を含む。）																					
合計																					

現有工事消化能力	定時間	2時間残業

4 鋼材搭載重量（　　年 3 9 月末現在）

単位 トン

工事区分			総搭載重量	実績						予定											
				年						年											
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
新造船工事	既契約船																				
	未契約船																				
	小計																				
改造及び修繕船工事																					
合計																					

5 従業員数（　　年 3 9 月末現在）

単位 人

職種 ＼ 部門			造船部門				造船部門以外の部門	合計
			直接		間接	小計		
			新造	改造・修繕				
工員	社内工	常用工						
		臨時工						
	社外工							
	小計							
職員	事務							
	技術							
合計								

備考

1　生産高の欄には、期間中に発生した総製造費用を記載すること。

2　新造船工程表は、調査時点前6か月間の実績及び調査時点後1年間の計画を線表とし、船番、船主（外国船の場合はその国籍）、用途、総トン数、載貨重量トン数及び船名を記入すること。
なお、工事期間が調査時点以後1年をこえる既契約船については、そのしゅん工期まで作成すること。

3　工事時間数は、生産部門の調査時点前6か月の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること。
なお、現有工事消化能力は、1日所定労働時間数7時間、1か月労働日数25日とし、出勤率は社内工にあつては90%、社外工にあつては100%として算出すること。

4　鋼材搭載重量は、調査時点前6か月間の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること。